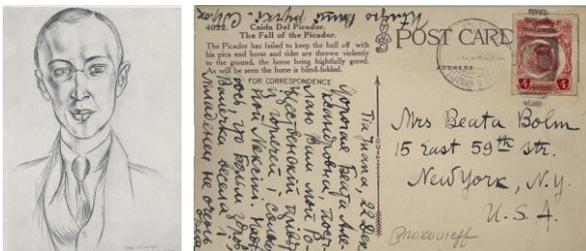


セルゲイ・プロコフィエフ
生誕 135 周年 (1)
バレエ・リュス作品『道化師』

会期 / 2026年3月1日(日) ~ 5月27日(水)
(※ 休館日は web でご確認ください)

企画・構成 / 関典子 (薄井憲二バレエ・コレクション・キュレーター)

2026 年は 20 世紀を代表する作曲家セルゲイ・プロコフィエフ (1891.4.23~1953.3.5) の生誕 135 周年にあたります。常設展では、プロコフィエフが手掛けたバレエ作品の資料をシリーズでご紹介いたします。第 1 回は、バレエ・リュス作品『道化師』(1921)。ロシア民話に基づくユニークな物語、生き生きとした色調の舞台美術・衣裳に彩られた鮮烈な作品世界を、どうぞお楽しみください。



セルゲイ・プロコフィエフ (Sergei Prokofiev 1891-1953)

ロシアの作曲家。ウクライナで幼少期を過ごした後、母に見出され 13 歳でサンクトペテルブルク音楽院に入学、アナトーリ・リャードフ、ニコライ・リムスキー＝コルサコフらに師事。1914 年に渡欧し、イーゴリ・ストラヴィンスキー、モーリス・ラヴェルらの作品に接する。バレエ・リュス団長セルゲイ・ディアギレフに『ピアノ協奏曲第 2 番』(1912-1913) を認められ、彼の委嘱により自身初のバレエ音楽『アラとロリー』(1916) を作曲するが、バレエ・リュス作品としては採用されなかった (1927 年、テルピスがベルリン歌劇場で上演)。

ディアギレフはプロコフィエフのことを「第二の息子」(「第一の息子」はストラヴィンスキー) と称したとされ、後期バレエ・リュス作品の『道化師』(1921)、『鋼鉄の歩み』(1927)、そして、バレエ・リュス最後の『放蕩息子』(1929) などが誕生した。プロコフィエフはその後もバレエ音楽を手掛け、20 世紀の物語バレエの最高傑作となった『ロミオとジュリエット』(1936)、ボリショイ・バレエのための『シンデレラ』(1964)、『石の花』(1949) など、名作を次々と発表した。ストラヴィンスキーと並び、20 世紀の最も重要なバレエ作曲家である。

『道化師』(1921) 全 6 場のバレエ

【初演】1921 年 5 月 17 日、ゲテ・リリック劇場 (パリ)
【音楽】セルゲイ・プロコフィエフ
【指揮】エルネスト・アンセルメ
【振付】タデウス・スラヴィンスキー、ミハイル・ラリオノフ
【美術・衣裳】ミハイル・ラリオノフ
【台本】ロシア民話に基づく
【出演】タデウス・スラヴィンスキー、リディア・ソコロワ他
副題は「7 人の道化師を騙した道化師の物語」。若い道化師は、死者を生き返らせることができるという魔法の鞭を、年老いた 7 人の道化師たちに売りつける。しかし、それは真っ赤な嘘で、7 人の年老いた道化師たちは魔法の鞭で妻を打ち殺すが、生き返らせることはできなかった。7 人の道化師たちの復讐から逃れるため、若い道化師は女料理人や兵士の姿に変装する。そして金持ちの商人から金をだまし取ると、若い道化師とその妻はそれを祝い、兵士たちは 7 人の道化師の娘たちに求婚し、大団円となる。

1921 年、レオニード・マシーンが退団した後の空白期に、ディアギレフが好きなロシアの民話を題材に作られた。ポーランド出身のダンサー、スラヴィンスキーが初めて振付を任せられ、美術・衣裳のラリオノフは振付アドバイザーも担当。ラリオノフの美術的意図をスラヴィンスキーが舞踊化し、同時にマシーンと考えた動きのアイデアを伝えるなどして作業を進めたという。ラリオノフは、レイヨニスム (光線主義) といわれた赤や黄の鮮やかな色彩を駆使し、ロシアのフォーク・アートあるいはアール・デコともいえるデザインを生み出した。作品自体はレパートリーとしては残らなかったが、衣裳や美術の造形的奇抜さは観客に強いインパクトを残した。

主な出展資料

- ◆ AU-101 直筆葉書 / セルゲイ・プロコフィエフよりベアタ・ボルム (アドルフ・ボルムの妻) 宛 / 年不詳
- ◆ PRBROF-19 バレエ・リュス公式プログラム / 1921 年 5 月 / ゲテ・リリック劇場 (アンリ・マティス画セルゲイ・プロコフィエフ肖像画)
- ◆ BK-2988 カタログ / 『魅惑のコスチューム : バレエ・リュス展』 / 監修 : 薄井憲二、ロバート・ベル / 国立新美術館・TBS テレビ / 2014 年



- ◆ 参考音源 : ロンドン交響楽団 (2025) 第 6 曲『道化師の娘たちの踊り』

<https://youtu.be/FUocK8jzDUc?si=dZocKgr74DVthNV>



兵庫県立芸術文化センター

〒663-8204 兵庫県西宮市高松町 2-22
tel: 0798-68-0223 fax: 0798-68-0212

※ 禁無断転載・複製・引用